

エコアクション21

環境経営レポート



2022年度

運用期間 2022年12月1日～2023年11月30日

有限会社高山産業開発

2023年12月25日 発行

【目次】

表紙	…1
目次	…2
1. 組織の概要と対象範囲	…3
1) 事業者名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び事務局親日連絡先	
4) 事業創立年月日	
5) 事業活動の内容	
6) 対象範囲	
7) 事業規模	
8) 推進組織図	
2. 環境経営方針	…4
3. 環境経営目標	…5
4. 環境経営計画と取組結果及び評価	…6
5. 環境経営目標の実績	…7
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	…8～8-2
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	…9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	…9

1. 組織の概要と対象範囲

1) 事業者名及び代表者名

有限会社 高山産業開発
代表取締役 高山 修

2) 所在地

本社 〒883-0108 宮崎県日向市東郷町八重原819番地
資材置き場 〒883-0108 宮崎県日向市東郷町八重原字中島929番地

3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡担当

EA-21 責任者 : 総務部 高山 修
EA-21 事務局 : 総務部 中村 俊夫

連絡担当者 : 中村 俊夫 (EA21事務局)
TEL 0982-69-2811 FAX 0982-69-3545
E-meil : haebaru@h9.dion.ne.jp

4) 事業創立年月日

昭和58年 6月 1日 [創立から40年]

5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、管工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、塗装工事業、電気工事業、解体工事業)

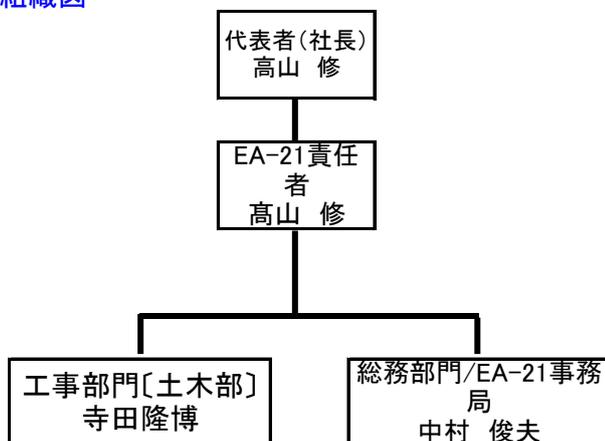
6) 対象範囲 (全組織・全活動)

組織・・・ 本社事業所及び資材置き場
活動・・・ (5)活動事業の内容全て
レポート対象期間 表紙に掲載
レポート発行日 表紙に掲載

7) 事業規模

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
工事件数	件	7	7	12	7
従業員数	人	10	13	10	8
事務所床面積	m ²	60	60	60	60
倉庫床面積	m ²	10	10	10	10
資機材置場面積	m ²	140	140	140	140
工場・作業所等床面積	m ²	0	0	0	0

8) 推進組織図



2. 環境経営方針

環境経営方針

有限会社 高山産業開発は、現在の地球全体が直面している環境を取り巻く諸問題を少しでも解決すべく、社員全員の力を結集し、対策に当たって行くべき行動します。

行動指針

1. 当社は、建設業の活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営活動計画を定め、継続的改善に努めます。
2. 事業活動から発生する環境負荷の低減を図るために、つぎの事項について優先的に取り組みます
 - ①電力使用量・化石燃料使用量の節減による、二酸化炭素排出量の削減
 - ②事業所や建設現場で排出される廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ③節水活動による水使用量の削減
3. 環境関連法規を遵守します
4. 環境に配慮した機械・資材の利用、及び施工・工法を推進します
5. 環境保全活動を通じて、地域での社会貢献活動に努めます
6. 人材不足や社員の高齢化が進む中で、次世代の建設業を担う人材育成に努めます

この環境経営方針は、当社全社員に周知徹底するとともに一般に開示します

令和 02 年 01 月 10 日 改定
平成 24 年 11 月 20 日 改定
平成 23 年 11 月 15 日 制定

有限会社 高山産業開発

代表取締役 高山 修

3. 環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
 なお、目標設定の基準は2017年度(2017年12月～2018年11月)のデータを使用します。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準値 (2017年12月～ 2018年11月)	2020年度 (2020年12月～ 2021年11月)	2021年度 (2021年12月～ 2022年11月)	2022年度 (2022年12月～ 2023年11月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	5,273.3	5,167.8	5,157.2	5,141.4	
	現場	185,306.9	181,600.7	181,230.1	180,674.2	
	全社	190,580.2	186,768.5	186,387.3	185,815.6	
	①電気使用量の削減 (kWh)		削減率%	2.0	2.2	2.5
		事務所	6,572.0	6,440.6	6,427.4	6,407.7
		現場				
	②ガソリン使用量の削減 (L)		削減率%	2.0	2.2	2.5
		事務所	1,222.0	1,197.6	1,195.1	1,191.5
		現場	8,191.8	8,028.0	8,011.6	7,987.0
	③軽油使用量の削減 (L)		削減率%	2.0	2.2	2.5
		事務所				
		現場	64,458.1	63,168.9	63,040.0	62,846.6
	2. 廃棄物の削減	全社	削減率%	2.0	2.2	2.5
		全社	83.0	81.3	81.2	80.9
		現場	204.8t (70.9%)	環境経営計画を遵守し、再資源化率の向上を図る(目標は、95%以上)		
3. 水資源使用量の削減 (m ³)		削減率%	2.0	2.2	2.5	
	事務所	12.0	11.8	11.7	11.7	
	現場					
	全社	12.0	11.8	11.7	11.7	
4. 環境活動 ・有益な	全社	環境経営計画の遵守	環境経営計画の遵守	環境経営計画の遵守	環境経営計画の遵守	
	全社	8回	5回以上	5回以上	5回以上	

2021年1月10日
改訂点

- ・2017年度実績を基準値として第四次中期(2020～2022年度)の目標を設定。
- ・電気の排出係数は、2021(R03)年1月7日公表の小売電気事業者・九州電力の調整後排出係数のメニューBを採用
- ・環境配慮型を幅広く活動するため、従来の環境配慮型製品・サービスの提供から環境配慮型活動の推進に改定した。
- ・環境ボランティア活動は、新型コロナの影響で自粛が想定されるため目標回数を減らした。〔途中で改訂もある〕
- ・建設副産物は、再資源化率の向上に改訂、但し、工種や現場の条件で目標を達成できない場合もあります。

※化学物質(PRTR制度対象物質)の使用も購入もありません。

※二酸化炭素排出量は下記の計算に基づき設定した(排出量(kg-CO₂) = 使用量(A) × 排出係数(B))

	単位	使用量 (A)	排出係数 (B)
購入電力	kWh		0.371 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L		2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	L		2.58 (kg-CO ₂ /L)

4、環境経営計画と取組結果及び評価

2022年12月1日から2023年11月30日までの環境経営計画と実施状況及びその評価は下記の通りです。

取組項目		活動内容	取組み結果	評価
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③フライト*や植栽(緑のカーテン)等の利用により熱の出入りの調整 ④節電タップの使用	熱中症対策等により現場作業員休憩所、現場事務所また本社事務所等使用するので合算した電力は増加するが達成できた。	○ ○ ○ ○
	②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②効率の良い配車・相乗りの推進 ③段取りのよい前準備で無駄のない折り返し運行の撲滅	当年度も常に相乗り等行う配車を心がけた、前年度より遠方は減り、資材運搬等往復を重ねたが目標達成出来た。	○ ○ ○
	③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②重機の定期点検整備の実施 ③効率の良い配車・相乗りの推進	遠方通勤等は相乗り、エコドライブを徹底している。当年度も工事で使用する機械機種が小型、中型で賅うことができ軽油の使用削減に貢献した。	○ ○ ○
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①廃棄物の分別管理と記録の徹底 ②コピー用紙などの再利用の促進 ③資材梱包材の業者持帰り依頼	一般廃棄物はしっかりと分別管理し、定期的に受け入れ先に運んでいます。コピー用紙などの再利用も徹底的に行っている。	○ ○ ○
	②建設副産物廃棄方法の遵守	①産廃委託契約の履行 ②建設残余資材の保管場所の周知徹底による再利用の促進 ③残余資材が発生しないように、発注時在庫の確認を行うこと	建設副産物で再利用できるものはその施設に運んでいる。また中間処分、最終処分等分別して適正に処理している。 残余資材が発生しないように留意している	C ○ ○
3. 水資源使用量の削減(年間水資源総使用量)		①定期的な水道メーターの確認 ②車輛や建設機械の洗車は必要最小限とし、出来るだけ山の水を利用する	水道は必要最小限しか使用していません。車輛等の洗車は山の水を引いて利用している。	○ ○ ○
4・有益な環境活動	①環境型製品・サービスの提供	①環境に関する研究会・講習への参加による提案力のアップ ②現場における環境に配慮した対策(重機等)の提案、実践	工事現場では常に環境に配慮した機械の使用と作業を心がけている。環境を大事にする事、片付けるとか、もったいないとか、そんな事が環境破壊を起こさない現場作りだと感じている。 ・①はリモート研修を1回・2名受講。	○ ○
	②環境ボランティア活動の取組推進	①事務所廻り及び現場周辺の清掃 ②地域の環境ボランティア活動への積極的な参画	当年度も出来る事は身近な所から参加・活動し、環境への取組みを進めてきたが、コロナの影響が大であったが、7回の実績があった。	○ ○

5. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

実績値は、2022年度運用期間(12月～11月)の12ヶ月で、目標値は基準年度(2017年度)の同期間の削減率とする。

取組項目		実施区	2022年度目標 (2022年12月～ 2023年11月)	2022年度実績 (2022年12月～ 2023年11月)	達成率	判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		2.2%削減	185,815.7	94,956.6	195.7%	○	
		全社	[現場の電気・灯油と事務所の灯油使用量を含む 全社のCO ₂ 排出量は、96,619.6 kg-CO ₂]				
省 エ ネ ル ギ ー 項 目	①電気使用量の削減 (kWh)	2.2%削減	事務所	6,407.7	4,240.0	151.1%	○
			現場	—	—	—	—
			全社	6,407.7	4,240.0	151.1%	○
	②ガソリン使用量の 削減 (L)	2.2%削減	事務所	1,191.5	1,164.6	102.3%	○
			現場	7,987.0	5,938.8	134.5%	○
			全社	9,178.5	7,103.4	129.2%	○
④軽油使用量の削減 (L)	2.2%削減	現場	62,846.7	29,807.6	210.8%	○	
		全社	62,846.7	29,807.6	210.8%	○	
2. 廃棄物の削減と 建設副産物廃棄方法の遵守		①一般廃棄物の 分別計量	全社	80.9 kg	60.0 kg	134.8%	○
		②建設副産物の 再資源化率の向上	現場	環境経営計画 の遵守し 再資源化率95%以 上	環境経営計画を 遵守しました [133,070kg] [再資源化率 94.7%]	99.7%	△
3. 水資源使用量の削減 (m ³)		2.2%削減	全社	11.7 m ³	4.0 m ³	292.5%	○
4-①. 環境型製品・サービスの 提供		①環境に関する研究会 ②環境配慮の工法・資材 の提案	全社	環境経営 計画の遵守	遵守	—	○
4-②. 環境ボランティア活動の 取組推進		①事業所周辺の清掃活動 ②現場周辺の清掃活動 ③環境ボランティアへの参画	全社	5回	7回	140.0%	○

※ 目標値及び実績値は、環境経営目標達成状況管理表から転記しています。

※ 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力の調整後0.371を使用しました。

※ 達成率は、項目1～3が、目標/実績で100%以上が評価○で、項目4-①②が、実績/目標で100%以上が評価○とする。但し、ボランティア活動は未達でもほぼ達成に近い場合は△とする。

※ 現場の電気使用量は、第四次中期の基準では極めて少なかったため目標管理から外した。

ただ期間中に使用量が有った場合、環境負荷[エネルギー]の実績を把握しておき、第五次中期(2023～2025年度)での検討とする。

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営活動計画

次年度(2023年度(2023年12月1日～2024年11月30日))の環境経営目標は、8-2ページに掲載しています。 また環境経営計画は下記の通り取組めます。

取組み項目	実施区	2023年度の活動計画				
		活動内容	推進部門 責任者	実施スケジュール		
1. 二酸化炭素排出量の削減	事務所	[実施スケジュールの終了がない場合は、年間の終了月までとする。]	総務部 土木部	①12月～ ②6月～9月 12月～3月 ③12月～ ④12月～		
	現場					
	全社					
	①電気使用量の削減	事務所			①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③ブラインドや植栽(緑のカーテン)等の利用により熱の出入りの調整 ④節電タップの使用	
		現場				
		全社				
	②ガソリン使用量の削減	事務所			①エコドライブの徹底 ②効率の良い配車・相乗りの推進 ③段取りのよい前準備で無駄のない折り返し運行の撲滅	①12月～ ②12月～ ③12月～
		現場				
		全社				
	③軽油使用量の削減	事務所			①エコドライブの徹底 ②重機の定期点検整備の実施 ③効率の良い配車・相乗りの推進	土木部
現場						
全社						
2 廃棄物の削減	全社	①廃棄物の分別管理と記録の徹底 ②コピー用紙などの再利用の促進 ③資材梱包材の業者持帰り依頼	総務部	①12月～ ②12月～ ③12月～		
	現場	①産廃委託契約の履行 ②建設残余資材の保管場所の周知徹底による再利用の促進 ③残余資材が発生しないように、発注時在庫の確認を行うこと	土木部	①12月～ ②12月～ ③12月～		
3. 水資源使用量の削減 11.8 (m ³)	事務所	①定期的な水道メーターの確認 ②車輛や建設機械の洗車は必要最小限とし、出来るだけ山の水を利用する	総務部 土木部	①12月～ ②12月～		
現場						
全社						
4 有益な環境活動	全社	①環境に関する研究会・講習への参加による提案力のアップ ②現場における環境に配慮した対策(重機等)の提案や自主的な取組みの実践	土木部	①12月～ ②12月～		
	全社	①事務所廻り及び現場周辺の清掃 ②地域の環境ボランティア活動への積極的な参画	土木部 総務部	①随時に実施 ②随時に実施		

特記 2023年度も2022年度の活動内容を継続し活動するが、会社の状況等により不具合が発生したら運用期間の途中でも見直すこともあります。

6の2 次年度の環境経営目標

第五次中期(2023～2025年度)の環境経営目標の詳細は、下記の通りです。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準値 (2020～2022年度 実績平均)	2023年度 (2023年12月～ 2024年11月)	2024年度 (2024年12月～ 2025年11月)	2025年度 (2025年12月～ 2026年11月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	5,351.2	5,297.6	5,270.9	5,244.1	
	現場	102,543.5	101,518.1	101,005.4	100,492.7	
	全社	107,894.7	106,815.7	106,276.3	105,736.8	
		削減率%	1.0	1.5	2.0	
	①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	5,153.0	5,101.5	5,075.7	5,049.9
		現場	3,207.0	3,174.9	3,158.9	3,142.9
		全社	8,360.0	8,276.4	8,234.6	8,192.8
		削減率%	1.0	1.5	2.0	
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	1,251.5	1,239.0	1,232.7	1,226.5
		現場	7,145.4	7,073.9	7,038.2	7,002.5
全社		8,396.9	8,312.9	8,270.9	8,229.0	
	削減率%	1.0	1.5	2.0		
③軽油使用量の削減 (L)	現場	32,729.8	32,402.5	32,238.9	32,075.2	
	全社	32,729.8	32,402.5	32,238.9	32,075.2	
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)	削減率%	1.0	1.5	2.0	
		全社	60.0	59.4	59.1	58.8
	②. 建設副産物再資源化率の向上	現場	746.2t (99.2%)	環境経営計画を遵守し、再資源化率の向上を図る (目標は、95%以上)		
3. 水資源使用量の削減 (m ³)		削減率%	1.0	1.5	2.0	
	事務所	7.5	7.4	7.4	7.4	
	現場					
	全社	7.5	7.4	7.4	7.4	
4 環境活動 ・有益な	①. 環境配慮型活動の推進	全社	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守
	②. 環境ボランティア活動の 取組推進	全社	6.3回	5回以上	5回以上	5回以上

2024年1月10日 改訂点 ・2020年度～2022年度の実績平均を基準値として第五次中期(2023～2025年度)の目標を設定。

・電気の排出係数は、2023(R05)年12月22日公表の小売電気事業者・九州電力の調整後排出係数のメニューBを採用

・現場の電気は、第四次の使用量を考慮して第五次から目標管理の対象とした。

※化学物質(PRTR制度対象物質)の使用、購入ともありません。

※二酸化炭素排出量は下記の計算に基づき設定した(排出量(kg-CO₂) = 使用量(A) × 排出係数(B))

	単位	使用量 (A)	排出係数 (B)	
購入電力	kWh		0.475	(kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L		2.32	(kg-CO ₂ /L)
軽油	L		2.58	(kg-CO ₂ /L)

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社では、環境関連法規制の遵守状況確認を毎年4回実施しており、違反はありませんでした。また監督官庁からの指摘及び、地域住民から訴訟等もありませんでした。尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。当社の事業に係る主な環境関連法規制は、担当者がWeb(環境省ホームページの環境基準・法例等)の改定履歴や建設業協会からのお知らせ等から年次の運用開始時に見直しと取り纏めを行ってま

当社に関連する主な法規制は下表のとおりです。

主な法規名	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2, D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源使用	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施(重機搭載のエアコンを含む)	遵守
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	該当なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	該当なし
浄化槽法	・定期清掃、定期点検の実施 ・法定検査(第11条)の実施	該当なし

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示(○当年度の評価 ●次年度への指示)
①環境経営計画の実施状況及び環境経営目標の達成状況	○環境経営活動は、環境経営計画(兼)実施状況管理表によると、全社員が意識を持って、各活動項目をほぼ実施していることを確認・評価した。 ●次年度(2023年度)も計画通りの活動を実施していただきたい。 *-----* ○目標達成は、全項目で目標を達成できた。当年度は業績的に前年度とほぼ変わらなかったが、現場の条件(工事の種類、場所等)で恵まれた点が多く、省エネ的(電気、燃料等を抑えた)に工事が進んだものと思われる。 ●次年度(2023年度から第五次中期(2023~2025年度)の計画作りとなるが、単年度の基準値から3ヶ年[2020~2022年度]の実績平均を基準値に変更したい、また、ここ2年間現場での電気使用量が発生してきたので目標管理の対象に追加したい。各目標値及び環境経営計画が策定されたら全社員に周知し目標達成の意識の基、活動していただきたい。
②環境関連法規等の遵守状況	○環境関連法規の取り纏め(兼)遵守評価表で確認した。当社に関連する法規等は毎年見直しされ最新であり、全て遵守している。 ●次年度も継続していただきたい。
③外部からの環境に関する苦情や要望等	○当年度も環境に関する苦情、クレームが無かったこと、ボランティア活動にも7回参加したことを評価したい。 ●次年度も同様に活動を継続したい。
④環境経営方針	○特に不具合は無かった。 ●次年度も現行の環境経営方針を継続する。
⑤実施体制	○特に不具合は無かった ●次年度も現行の実施体制を継続する。
⑥環境経営システム(その他全般)	特になし